

校長室より

二松学舎大学附属高等学校

校長 鵜飼敦之

「二松から飛翔へ」～一期一会～

雪国体験～1年生初の宿泊行事～

極寒の菅平高原にて、2泊3日の「雪国体験」を無事に終えることができました。

到着した日、一面の銀世界に驚きの表情を見せていた生徒たちも、雪上での時間を重ねるごとに、次第にたくましく、そして生き生きとした顔へと変わっていきました。

スキー技術の向上はもちろんですが、それ以上に仲間同士で声を掛け合い、転んだ友を気遣い、互いに励まし合う姿が印象的でした。思うように滑れず悔しい思いをした生徒も、最終日には自信に満ちた表情で斜面を滑り降りる場面もあり、挑戦と成長の三日間であったことを実感します。

そして、宿舎での寝食を共にする生活を通して、規律や協調性、集団の中での自分の在り方について学ぶ貴重な機会ともなりました。また、夜に行われた「雪国を知る」体験やクイズ大会などでは菅平の自然やスキーの基礎知識、そして先生方の隠された秘密（？）などについても共有し、笑いの溢れる時間となりました。

スナップ写真からは、寒さを忘れたような笑顔と達成感が溢れています。この経験が、今後の学校生活や日々の挑戦に向かう力となることを願い、支えてくださったインストラクター・宿舎のスタッフ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

